

一般財団法人 志星学園 北海道歯科技術専門学校

令和7年度 学校評価委員会 報告書

日時：令和8年3月19日（木） 14：03～14：48

会場：北海道歯科技術専門学校

参加者：学校評価委員会 委員

北海道歯科技術専門学校	理事長	白川 満久
北海道歯科技術専門学校	校長	岩崎 佳治
北海道歯科技術専門学校	教務部長	澁谷 聡
北海道歯科技術専門学校	研究科長	今村 幸四郎
北海道大学病院 生体技工部	技工士長	道田 共博
(有) デンタルサプライ千歳ラボ	所長	後藤 彰雄

● 自己点検評価項目と内容

1. 教育理念・目標

本校の教育理念は、①医療人としての人格形成、②基礎技術の完全修得、③卒業後臨床に即応できる応用技術の習得である。本年度は、令和8年1月28日付で北海道医療大学と包括連携協定を締結した。本協定は「より良い教育の実現」「地域の歯科医療への貢献」「研究の発展」を3本の柱としており、大学のリソースを最大限に活用することで、教育理念のさらなる深化を目指すものである。自己点検の結果、これらの取組は適切に周知・実行されていると評価した。

2. 学校運営

事業計画や予算に関しては、理事会や評議員会にて適切に協議・管理されている。また、北海道医療大学との連携という新たな運営基盤の強化についても高く評価された。学校ホームページでの情報公開も継続して行われており、自己点検の結果は適切であると評価した。

3. 教育活動

実践的な職業教育を推進するため、教職員会議を通じたカリキュラムの検討を継続している。本年度は学内のWi-Fi設備を最新規格へ刷新し、貸与タブレットによるICT学習環境を大幅に強化した。また、付属研究科による北海道医療大学とのCAD/CAMを用いた共同実習は極めて高い教育効果を上げており、令和8年度からは本科2年生においても同実習を実施する計画を策定した。早期からのデジタル教育導入は時代の要請に合致しており、適切であると評価した。

4. 学修成果

全国模擬試験において、11年連続で全国第一位の成績を修めることができた。国家試験合格率及び就職率も100%を継続している。中途退学者については3名（一身上の都合、体調不良、進路変更 各1名）であった。退学者ゼロの目標には届かなかったが、個別の面談を通じた丁寧なフォローアップを実施しており、自己点検結果は適切であると評価した。今後も学生一人ひとりへのきめ細やかなサポートを継続してほしいとの意見があった。

5. 学生支援

学生への定期的な面談による状況把握および保護者への成績通知や状況報告等の連絡を密に行うことで学生のサポート体制を維持している。また、卒業生への就職斡旋や学術情報提供など、就職サポートセンターとしての機能も十分に発揮できている点から、自己点検の結果は適切であると評価した。

6. 教育環境

授業時に使用する実習帳等の教材は適正に提供されている。また、学内の Wi-Fi 設備を最新規格へ刷新し、貸与タブレットによる ICT 学習環境を大幅に強化した。また、付属研究科による北海道医療大学との CAD/CAM を用いた共同実習は極めて高い教育効果を上げており、令和 8 年度からは本科 2 年生においても同実習を実施する計画を策定し就職後も即戦力として対応できるようカリキュラムを充実させている。年に一度の防災訓練を行っており災害時の対策に努めている。毎年の検討事項となっている校舎や設備面の老朽化については、適宜機械の買い替えを実施し環境整備に努めている点から自己点検の結果は適切であると評価した。

7. 学生の受け入れ募集

令和 7 年度の入学者数は 11 名と前年度と同程度で推移しているが、9 回/年のオープンキャンパス（OC）の開催と進学相談会への出席や SNS を活用した積極的な情報発信の結果、OC の参加者は前年度と比較し倍近く大幅な増加を記録した。自己点検結果は広報活動の努力により例年通り適切であると評価した。次年度も引き続き広報活動に注力し職業の周知、入学者の更なる増加に繋げていただきたいと意見があった。

8. 財務

入学者数の減少傾向に伴い学納金は厳しい状況にあるが、収支バランスを考慮した予算管理が法人理事会で徹底されている。公認会計士による会計監査を受けており、財務状況は適正であると評価した。

9. 法令等の遵守

学校教育法の専修学校設置基準や歯科技工士学校養成所指定規則などに定める設置基準や運営方法さらに教職員資格に関わる法令も遵守しており、自己点検の結果は適切であると評価した。

10. 社会貢献・地域情報

社会貢献の一環として歯科技工士としての職業の認知度を上げるために、年に数回の啓発活動を実施している。また、研究所において一般歯科技工士を対象とした実技講習会を実施し、歯科医療業界への貢献も行われている。さらに、北海道医療大学との連携協定を通じた地域歯科医療への貢献という新たな目標が設定された点や中学生への職業体験実習の継続などを踏まえ自己点検の結果は適切であると評価した。